地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.43 地域連携病院㊴「社会医療法人 川島会 川島病院」

今回は、徳島市北佐古一番町にある川島病院をご紹介します。

■“蛋白尿から腎移植まで”

社会医療法人川島会は、川島病院を中心に県内の６つのサテライト透析室で診療を行っています。昭和51年に透析室を開設して以来、"蛋白尿から腎移植まで"をモットーとして診療を続け、腎不全治療の専門病院として血液透析、腹膜透析、腎移植を合わせ約1,200名の末期腎不全患者さんの診療にあたっています。また、新たな診療科の開設と充実にも努め、現在では腎臓内科、循環器科、糖尿病内科、泌尿器科、消化器内科、整形外科、血液内科などを中心に各専門領域の診療に力を注いでいます。

透析室

■新病院への移転

今年8月には、旧病院の100m北の新病院に全面移転し、透析室も含めた腎センターも開設しました。また、同時期から消化器内視鏡検査・治療、整形外科手術、血液内科など新たな分野の診療も開始しています。新築に伴い、ロボット手術機器、256列CTなど多くの医療機器も導入しており、今後も更に診療体制の充実を図っていく予定です。

■災害時にも変わらぬ医療を

川島病院は徳島県の透析災害基幹病院であり、災害時には対策本部が設置されることが想定されます。新病院は１階柱頭免震構造とし、診療部門は２階以上に、熱源・電気・厨房などの設備は最上階に配置しています。また、エレベーター1基は浸水の可能性のある1階を経由せず、1階が浸水しても入院患者さんの移動、食事提供が容易にできるよう配慮するなど、新病院は透析医療をはじめとする医療を大災害時にも継続可能な構造となっています。

■切れ目のない支援を

川島病院地域連携室は、平成18年に設置以来、地域の医療機関や福祉施設と連携を深めることにより、患者さんにとって有益で効果的な医療・福祉サービスが提供できるよう尽力してきました。療養中の患者さんやそのご家族の様々な悩みや不安に関する相談を聞き、切れ目のない支援が受けられるよう、適切な機関へ紹介するなど、患者さんが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らしていくために、よりよい解決法を一緒に考えています。

■徳島大学病院との連携

現在、川島病院には、徳島大学病院から多くの診療科の医師が診療支援をしており、また徳島大学病院で急性期治療を終えた患者さんの術後リハビリ目的の入院も多く受け入れています。今後も相互に連携を取りながら地域医療に貢献することが期待されます。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

社会医療法人 川島会
川 島 病 院
徳島県徳島市北佐古一番町6-1
TEL.088-631-0110

■説明は
(前列右から)**大下 千鶴**(おおしたちづる)**看護部長**、**西内 健**(にしうち たけし)**院長**、**田中 リエ**(たなか りえ)**MSW**、
(後列右から)**西分 延代**(にしぶんのぶよ)**看護師長**、**末綱 麻由美**(すえつな まゆみ)**MSW**、**三橋 浩美**(みつはし ひろみ)**MSW**